

ハビカム

国東市

Tourism

## 観光資源

多くの神社仏閣を有する国東市。先人の信仰心と暮らしが築いた歴史文化は今も、これからも国東観光の礎だ。人口減少と高齢化が進む中、地域経済に潤いをもたらす観光振興は大きな希望。空の玄関口・大分空港が立地する強みも生かし、「国東ブランド」を確立しようと、各分野の若手リーダーたちが未来を語った。



## ぶれずにキャッチフレーズ

## 「継げ」と言える環境に

**高野** コーディネーター(以下**高野C**) きょうはほとんど意見、質問をぶつけてください。自己紹介をお願いします。

**高野** 国東町鶴川で育ちました。都会に出るまで、地元を田舎と思っていませんでした(笑)。中学3年生と小学5年生の子どもがいるんですが、上の子が進路に悩んでいて。まちづくりに積極的に参加したいのですが、子どもに時間をかけてあげたいのが今の率直な気持ちで、葛藤しています。

**酒井** 市役所に入って21年目、観光担当は2年目で勉強中です。よろしく願います。

**秋吉** 国東生まれで、高校から県外に出て、4年前に戻ってきました。積極的にこれからの観光や文化を維持する活動に頑張っていきたい。子どもに「後を継げ」と言える環境に近くはと、日々精進しています。

**徳丸** 私も国東の良さを多くの人に知ってもらおうと、本業に加え、「み仏の里くにききウォーキング大会」の実行委員や「国東半島峯道(みねみち)ロングトレイル準備委員会」会員として活動しています。

**井上** 出身は大分県ではありませんが、11年間大分にいます。旅行会社は大分のお客さんを県外に連れ出すことが多かったのですが、最近はいかに大分に来てもうかまビジネスの一つです。地元の皆さんにアドバイスをいただくことも多いので、きょうはよろしく願います。

**高野C** 私のいる整理部は聞き慣れない部署と思いますが、共同通信や自社の原稿の価値を判断して選び、見出しを付け、新聞に仕上げていく仕事をしています。デスクになって一番大きな



若手リーダー  
JTB九州大分支店営業部  
井上博道 さん

仕事は東日本大震災でした。あんな大きな災害になるとは思わず紙面を作っていた記憶があります。それでは早速、本題に入っていきたいと思います。国東の観光資源として一番に思い浮かぶのが、六郷満山。秋吉さん、現状や今後の方向性を教えてください。

## 変えるべき部分見極め

**秋吉** きょうはあくまでも文殊仙寺の秋吉の意見として聞いてください。現状はかなり厳しい。六郷満山には三十三霊場というのがありますが、そのうち住職のいるお寺は65%。さらに僧侶以外に副業を持っている人は8割に上ります。お寺だけでは生活を維持できないところが多いということです。教員や農協、市役所の職員などをしながらというのが現状。檀家も少なくなっています。国東の観光について思うのは、お互いを認め合う姿勢が欠けていて、連携が下手だなと。例えば私はお参りに来た人に他のお寺の話や国東の名所などについて話します。自分の所の自慢話はかりしていても広がりありませんから。

**高野** 私もUターンで帰ってきてから、高度経済成長期やバブルを経験してきた上の世代が厳しい現実を見ていない部分があるなと思っています。今は物を作れば売れるという時代ではありません。外から移り住んできた人が増え、新しい視点が入りつつあるので、まちづくりにいい時期が来ているんじゃないかと期待しています。

**徳丸** お年寄りの声が大きいのというのは確かに感じます。ただ、古き良き文化の変えてはいけないところは変えてはいけません。変えるべき部分をみんなで見極めることが必要だと。

**秋吉** 今ある自然や文化は先人が残したの

か、それとも何となく残ったのか、その違いは大きいと思います。作れば売れたバブルの時代が過ぎたのに何も対策を練らずにいて、そのうち消費者の財布のひもは固くなり、厳しい現状に至っています。「有名なお寺だから」とプライドだけあってもう仕方がない。お寺に限らず、国東を訪れる人へのおもてなしとは何かということを真剣に考えなくては。今の時代、お金稼ぎとサービスがイブンじゃなければ淘汰されてしまいますよ。

**高野C** 旅行や観光に対する意識は変わってきていますね。井上さんはどう感じていますか。

**井上** 体験や癒やしなど、お客さんの求めるものは多様化していますが、今も昔も旅行に行くに財布のひもは一気に緩むんですね。いい物であれば買う。国東市はその辺の商売が下手かもしれない。観光客はお金を使うきっかけを待っているところがありますから。

## 大型ツアーは似合わせ

**高野C** 観光客数の増減はどうですか。

**酒井** 今のところは毎年少しずつ増えていますね。

**秋吉** 国東で一番多いのは両子寺で、平均して年間7万人前後が訪れます。文殊仙寺は私が帰ってきた年は1万5千人ほどでしたが、今は約4万人まで増えました。福岡県の太宰府の数百万人と比べると寂しいかもしれませんが、市にも年間何十万人とか目標を立ててほしい。夢も大切ですよ。

**酒井** 観光客数の具体的な目標は今のところないんですが、人口流出が深刻で。私が生まれた1970年には4万5千人だった人口が、現在は3万1千人ちょっとと、かなり減っています。高齢化率も上がっており、若者が定着できる



若手リーダー  
国東市商工観光課主査  
酒井英樹 さん

地域をつくろうとはしているんですが、今何もしなければ3万人を切って、国東が衰退してしまいます。

**徳丸** 定住人口は行政だけに任せていても増えないと思います。行政と民間がフラットな雰囲気です。行政と民間がフラットな雰囲気です。行政と民間がフラットな雰囲気です。

**秋吉** 高齢者が年金に依存しない、所得を生み出せる町というのはどうでしょうか。70歳代も店で売野菜を作ったり、お寺の清掃活動をしたりと地域で活躍している。お年寄り扱いしてサービスなどに行ってもらうのではなく、できる範囲で動いてもらう「死ぬ直前まで元気な国東市」が夢ですね。観光の話になりますが、私はこれからの国東市に大型バスツアーは似合わないと思うんです。大型バスが通れない道もありますし、1カ所の所要時間が短くては魅力が伝えない。そこで個人客を誘致していく。まず大分空港に来て、レンタカーで巡るのを基本スタイルにして、バスよりもかなりあちこち回れますよ。

## 客に自慢の産品を紹介

**高野** お土産がないという声も聞きますが、以前、シタケ生産者から勧められたシタケ料理が本当においしくて。私たちは昔からあるおいしい物、生産者の自慢の産品をお客さんに教えてあげなくてはならないのに情報が少なくできていない。修正鬼会に時に甘酒を振る舞っているんですが、鬼会が長いので、食べ物がなくてお客さんも間がたない。日新しいものでなくても、焼いたシタケやミカンといった身近にあるおいしい物を出せばいいんだと思うようになりました。食は観光の大きな楽しみです。産品をしっかりPRすることで、後継者の育成に



若手リーダー  
海雲荘女将  
高野英子 さん

もつながりそうです。

**秋吉** 鬼会の話が出ましたが、国東ほど奇祭が多い地域はないと言われてます。受け入れについて市の姿勢をはっきりしてほしいですね。天念寺(豊後高田市)は見やすくするために祭りの時間を短縮した。岩戸寺(国東市)や成仏寺(同)のお祭りは時間は長い完全に継承されている面白さがある。よく見える浅敷席やカメラマン用の有料席をつくってはどうかと提案してきたんですが、新しいことをするのか、それとも従来のままでいくのかを判断する時期に来ているんじゃないかと。それから、国東市の観光はこれだという軸を決めてほしい。キャッチフレーズが「森羅万象」「千年ロマン」と次々と出てくる。官民一緒になって一つのブランドを構築していくべきではないでしょうか。

**徳丸** キャッチフレーズを作ったら言い続けて、それに沿った取り組みをやっていくかなとブランドとして定着しない。空港もマージナルというペンギンのキャラクターがあって、今回のキャッチフレーズは「幸せは空から」。ペンギン=大分空港=幸せが来るみたいな物語が定着したら、付加価値も出てくると思うんですよね。



若手リーダー  
大分航空ターミナル事業部施設管理課  
徳丸勝幸 さん

## 空港の名前を変えては

**井上** 空港の名前を変えるという話は。

**徳丸** 出たり消えたりで…。大分には熊本県の阿蘇山のようにシンボリックなものがなかなか見つからないので難しいようです。

**酒井** 別府空港だけは勘弁してほしいですね(笑)。

**秋吉** 大分空港に市の観光課を移すというのはどうですか。住民票などが取れる支所的な機能も持たせ、職員がお帰りのない、いってらっしゃいと言えよう。

**酒井** 楽しそう。話題性もあります。

**徳丸** 空港の総合案内所で、出張帰りのビジネスマンとかに「飛行機の待ち時間に訪れるいいところはないか」と尋ねられることがあるんですが、時間貸しのレンタカーがないので案内できない。それから、飛行機に自転車を手荷物で預け、空港前で自転車を組み立てて出発していくお客さんをけっこう見かけるので、そういう人を国東半島巡りに引っ張ってこれたらと思うんです。

**秋吉** 市の使っていない車を時間貸しにするとかできませんかね。

## 九州初のコース目指す

**高野C** 徳丸さんの関わっているロングトレイル構想について教えてください。

**徳丸** 地元の自然や文化に触れながら、長い距離を何日間かで歩くというものです。現在は準備委員会として、日本ロングトレイル協議会に国東半島の道を認定してもらおうと取り組んでいます。現在認定されている8コースはほとんど東日本。中国、四国地方にもなく、九州初の認定コースを目指しています。コースのある滋賀県高島市は人口5万人の所に年間40万人くらい訪れる。食やお土産、送迎など、地域が潤う波及効果がいろいろあるそうです。それが目的でもあるんです。

**高野C** 国東にもそれだけの効果が見込めそうですか。今後の国東観光の有力な武器になりそうです。

**徳丸** 夢ですよね。国東半島には素材や潜在能力はあると思う。地域の人を巻き込んで、どう

磨いていくかが課題です。

**秋吉** ロングトレイル自体に反対ではないんですが、行政の補助ありきの準備や不十分な受け入れ態勢ではやらない方がいいと言ったことがあります。地域にお金が落ちる仕組みもできていない。コースを「峯道」と名付けるのも峯入りのブランド低下につながりかねない。峯入りの道は私有地ばかりで、お坊さんが歩くから許している所有権もいます。ガイドもお坊さんでもない人たちがそろそろ歩いていたら不快になると思う。大切に残してきた文化を壊してまで受け入れる必要があるんじゃないかと。

## お金が落ちるシステム

**徳丸** 地域が潤うシステムはまだできていないし、課題は山積みです。宗教行事である峯入りとトレッキングを同列で見てはいけないという話もしています。ただ「峯道」と名付けるのは、国東半島の文化や伝統、山岳信仰に触れることのできるロングトレイルにしたいと思っているから。歩くことで心が洗われたと感じられるような。国東観光の動機付けにしたいので、来て良かったと思ってもらえる環境整備をしていくつもりです。

**秋吉** 地元の宿泊、飲食業に経済効果のあるシステムは本気で考えていかないと。最初から安売りではなく、これだけのものを伝えるにはこれだけの費用が掛かるんだと言い切れる売り出し方をしてほしい。ガイドも、ここではこういうお参りをしてくださいと、ちゃんと分かって案内ができ、お金を使わせる所にも誘導できる力量のある人を付けないと。

**徳丸** 高島はツアー客しか受け入れないと言っていました。お金がしっかり落ちるシステムを作らないと、地域の人の協力は得られません。

**井上** 旅行、観光は夢や情熱が根拠にないといけない。夢を売る旅行会社としてはロングトレイルは応援したいですね。

**高野** ロングトレイルに季節は関係あるんですか。秋は行事が集中するので、旅館も11月は1年で最も混み合いますが、閑散期の対応が課題。1、2月の寒い時期でも来たいと思ってもらえる魅力は欲しい。杵築市の「ひいな(雛)めぐり」は2月に催してもたくさんの方が訪れるので、参考になるなと思っています。

**徳丸** 全長120kmのコースを数日間に分けて歩くことを考えていて、全行程を踏破したいと思ってもらえるコースをつくりたい。まず国東に来てもらう動機付けをどうとんづつすることで、リピーターもできるんじゃないかと。

## 寺に泊まり座禅も体験

**秋吉** 寺の閑散期も旅館と同じ時期。対応として新緑や梅雨、紅葉前の峯歩きをやっています。ロングトレイルもガイドはお坊さんがいいと思うんですね。国東のお寺には歩ける若い世代が少なくあります。宿泊場所をお寺にしたり、座禅を組んだりもできるようにしては。実は峯入りのルートは決まっているわけではなく、手を合わせてお参りするのが本来の峯入り。歩くのはあくまでも手段です。そこをきちんと理解して発信してもらえのなら、若手を声を掛けて協力したいと思っています。

**高野C** いろいろなアイデアが出て、未来が見えるような内容でした。この会議が発展していくことを願っています。最後に、一人一人が思う「マイキーワード」を書いてもらって終わりたいと思います。



コーディネーター  
大分合同新聞記者  
高野学 さん

## 飲酒運転は絶対にやめましょう

お酒は20歳になってから。

悠久の歴史の中に  
また一歩が始まる

海に囲まれた  
白砂青松の地、国東半島。  
かつては秘境といわれ、  
神仏習合の息吹が残る六郷満山。  
ゆったりと流れる時空の中で  
コツコツと醸す  
温かく豊かなお酒。  
変わらないことへの  
維持、継続に感謝しつつ…。



清酒 西の関

萱島酒造有限会社

大分県国東市国東町綱井 392-1  
TEL0978(72)1181 FAX0978(72)1182  
http://www.nishinoseki.com/



六郷満山峰入り